

次号の特集予告

282 巻 3 号 (2022 年 7 月 16 日発行)

めまい——治療と研究の最前線

企画：武田憲昭 (徳島大学大学院医歯薬学研究部耳鼻咽喉科学)

- ・めまいはさまざまな疾患により発症する。最近、メニエール病や遅発性内リンパ水腫の難治例に対する中耳加圧治療が保険収載された。また、良性発作性頭位めまいに対する耳石置換法のエビデンスも確立されてきた。
- ・内耳造影MRIを用いた内リンパ水腫画像検査が広く行われるようになり、メニエール病の病態である内リンパ水腫が画像診断できるようになった。本特集では、これらの新しい検査法についても解説する。
- ・また、デバイスを用いた前庭リハビリテーションが開発され有効性が報告されている。これまで両側前庭機能障害によるめまいは治療が困難であったが、ノイズ前庭電気刺激治療が開発され有効性が報告されている。